

# 水稲側条用・園芸用殺菌剤

# オリゼート<sup>®</sup> 顆粒水和剤

プロベナゾール…………… 48.0%  
 鈣物質微粉、界面活性剤等…………… 52.0%

農林水産省登録 第 23909 号

毒性 普通物 有効年限 4年 包装 500g × 20袋

## ●特長

1. 水稲のいもち病、キャベツの黒腐病、はくさいの軟腐病、ブロッコリーの黒腐病、黒斑細菌病に対して有効で、安定した効果が長く続きます。
2. 植物の病害抵抗性を誘導して、高い防除効果を現すユニークな作用性の殺菌剤です。

## ●適用病害および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	500g/10a	移植時	1回	ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
			湛水直播時		ペースト肥料に混合し側条施肥は種機で施用する	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	黒腐病 黒斑細菌病	100倍	セル成型育苗トレイ1箱 またはペーパーポット 1冊(約30×60cm、 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り0.5ℓ	定植時	1回	灌注	1回
はくさい	軟腐病						
キャベツ	黒腐病						




(平成30年12月19日現在の登録内容)

## ●効果・薬害等の注意

- 本剤をペースト肥料に混合し側条施用する場合は、次の事項に注意する。

- ① 予め本剤を同重量の水に混ぜ、これをペースト肥料に加えて均一に混合し、側条施肥田植機または側条施肥は種機で本田に施用する。
  - ② 本剤と混合したペースト肥料は、その日のうちに使用する。
  - ③ 同一の病害を防除対象とする育苗施用薬剤とは併用しない。
  - ④ 移植後は湛水状態(湛水深3～5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないよう水管理に注意する。
  - ⑤ 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさける。
- 本剤をセル成型育苗トレイまたはペーパーポットに灌注する際は、調製液をセル成型育苗トレイまたはペーパーポット上方から灌注する。また、本剤が土壤に十分に吸収されないおそれがあるので処理直前や直後の灌水はさける。
  - 定植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさける。
  - 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。
  - 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## ●安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないよう注意する。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意する。  
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用する。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。  
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさける。 
- 夏期高温時の使用をさける。

魚毒性等…水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しない。

散布後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。

保管…直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。